

緑友会だより

緑友会会員は皆、同期生です！

南緑友会会長 根本 暉



明けましておめでとうございませう。今年も引き続き御支援をお願いいたします。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、緑友会の各種活動に深い御理解と御協力を頂き誠に有難うございませう。本年も引き続き御支援をお願いいたします。

さて、我が国は今、超高齢化社会を迎えています。老人とは、一般的に六十五歳以上の人だとされています。『内閣府がまとめた「二〇一〇年版高齢社会白書」によると、七十五歳以上の後期高齢者は二〇〇九年十月の時点で千三百七十一万人となり、総人口の一〇・八%を占めています。後期高齢者の数は増え続け、五年には七十五歳以上が二六・五%に達し、現役世代（一五歳から六十四歳まで）の一・三人が後期高齢者一人を支える社会になると推測されています。そうなるると、出来るだけ若い世代に負担を掛けさせない様にしようと思ふのが当然ではありませぬか。

しかし、実際はそうでもないらしい。「私は老人だから、〇〇してもらって当たり前」と思っている人の方が多いようです。（首野綾子著、「老いの才覚」、ベスト新書）

翻って、私たち緑友会の場合はどうでしょうか？

緑友会の活動は、会員の健康増進、相互の友愛活動、そして地域社会への奉仕活動が三本の柱になっております。これらの活動を支える接点となるのが各クラブの活動であると言えます。ラグランドゴルフ、ウォーキング、カラオケ、卓球、麻雀、俳句、バス旅行、及び、さわやかクリン運動のボランティア活動等、さらには地域行事への積極的参加に、会員相互の理解と親し

みを含めて、各人が得意の分野で生き生きと、積極的に参加されております。会員の皆さんが積極的に活動に参加されるから健康なのか、健康だから活動されるのか解りませんが、何れにしても喜ばしいことでありませう。

緑友会の会員の皆さんは、六十歳台から八十歳台まで幅広く活躍されておりますが、一つだけ共通している事があります。それは、皆さんが活動している姿が、心身共に大変若々しい、と言うことです。これは、日帰りバス旅行等で、乗り合わせた他所の老人クラブの方々から何度か言われたことでも分かります。即ち、私たち緑友会会員は活動中は、皆若々しく、元気に溢れた「同期生なのだ」と思ふ今日この頃であります。

この精神をいつまでも持ち続けて、一層強めていかれることを念願しております。

発行責任者 緑南・北緑友会 暉
南)会長 根本 美温
北)会長 神 美温
編集責任者 大沼 敬章
Tel 045-811-1580



ある日の出来事

北緑友会会長 神 美温



新年明けましておめでとうございませう。昨年十二月ある日の緑園遊歩道でのことでした。当日は眩しいばかりの紺碧に彩られ、遊歩道の銀杏は葉を落とし鮮やかな紅色に紅葉を飾り、紅葉の白い花が初冬の楽しみを与えてくれていました。私は、所用で緑園駅に向って

の傾斜道をかたむきながら、前方が高齢者のご婦人が歩いているのが見えてきました。私は早足でご婦人に近づき、「お荷物をお持ちでしたしょうか？」と声をかけました。お急ぎでしようから、どうぞお構いなく」とのご返事はないので、別に急いでいるわけではないので、私

「遠慮なさらないでください」といって荷物を私が持つてしまいたいところだ。彼女は何か不満の面影を漂わせた。一緒に歩き始めました。暫く歩いたところから、「ご自宅までお持ちしましたら、荷物をお預けしようかと、どうも無理強いはして歩き始めました。私はお気をつけてお帰りください」といって別れ、駅に向いました。気がきかないので、私が最初に声を掛けたときの彼女の目つきに、多少不自然さを感じていたので、その時は荷物を置いていたのだから、その考えはなかったのだ。多分彼女が持っているのは、盗まれるのではなからず、かたがたの目つきは、見られるのではなからず、後から思った次第です。次に家までお持ちしたつもりで、次は私の申し出に、自宅まで見知らぬ男に知られさせたくないと、防犯のことに加え、女性特有の恥じらいもあつたのかもしれない。私の反省は、人のお手伝いをするという善意にのめりこみ、こちらの視点で単純に動いたこと、手助けをされる方の視点にたつての行動が出来なかったことだ。最初自分の身分を明確にすることは先ず何丁目何番に住むAです。一人住まいです。で暇もありませう。一人住まいは安心の目、有難うの目つきに目つきは自分の至らなさを深く自戒するつもりで、自分の至らなさを深く自戒するつもりで、手助けの難しさを実感しました。

私はある別の思い出が頭を横切りました。もう十数年も前になりましたが、私の家内が乳がんので手術で入院した時でした。お見舞いに来てくださった方々は皆さん大変お元気です。家内は御礼を申し感謝の意を伝えておりました。が、その中で、ある奥様、「私も五年前に同じ手術をしましたが、今、こうして毎日元気に過ごしていますが、今、しんどい毎日です。元気に過ごしたい。私が見本です。全くと心配には及びませぬよ。」と励ましてくださいました。その時の家内の喜びにあふれた目の輝きを見てお話を聞いたお方に感謝申し上げました。健康な方のお見舞いは有難いことだ。相違ございませんが、病人は弱者です。明日の命も分かんない病人に、同病を患い同じ苦しみに耐えて元気に

緑友会の主な活動（五月〜十二月）

なられた方の言葉であっただけに、病は勇気付けられたのだと思います。病見舞いの難しさをつくづく感じましたときでした。

人との触れ合い、弱いものへの手助け、高齢化の進むわが国において、いかなる形での支援というものが如何に大切かという事は、いうまでもないことですが、当然のことですが、その言動は常に被支援者の視点、立場にたつて行われるべきことを十二月の遊歩道のある出来事で学んだ次第です。

会員皆様、本年も健康にくれぐれもお留意され緑友会活動を通じ、愉しくお過ごしください。

新入会員紹介（昨年五月以降）

- 後藤 孝子さん（南緑友会）
- 小林 誠七さん（南緑友会）
- 高橋 和子さん（南緑友会）
- 松本 玲子さん（南緑友会）
- 田中 金治さん（北緑友会）
- 栗田 千恵子さん（北緑友会）
- 山口 俊一さん（北緑友会）
- （カツキ マサツネ）
- 香月 尹則さん（北緑友会）

【地域交流・ボランティア】

- 緑園ふれあいフェスティバルに参加
六月二十四日
- 緑園夏祭りに参加
八月 四日

- 泉区高齢者カラオケ大会に
二名出場し熱唱の結果、二名入賞
八月二十四日
- 緑友会・焼そば他飲料の模擬店
会員の踊り模範演技



○緑園ふれあい祭りに
緑園シニア連合として参加
十月二十八日
長谷川幹夫さん



緑友会・東花会生ビール他飲料の模擬店



○誕生会
六月十七日（四く六月誕生月の方）
誕生会昼食の焼そば作り
（緑友会テントの披露を兼ねて）



○誕生会
九月十六日（七く九月誕生月の方）
上：南緑友会 下：北緑友会

